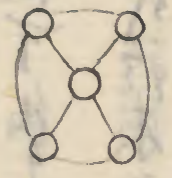


一 二月八日夜子と上列天の央より一筋の方出流星の圖



右の星出方にて陰陽頭修理善安於恭邪朝臣に任付  
考し則勅文を以恭邪朝臣奏同く任付古漢高祖元年

乙未十月出 和漢合運ししハヨクある事  
有し亦ハ夜日中し見之事加 本朝人星二十代醍醐天皇御宇

延長四年甲子年二月出同二十二代村上天皇御宇天曆二年甲子年

四月出吳國布朝とて天下文明の吉瑞とて吳君と大幸とて

云々文章とて同く星之帝劫二十里四方の内より右有人傳多事

文学感とて引れて天下恭平とて天下大赦行れとて年一とて

改えりて諸國の學校と連ひて了然と恭邪朝臣奏同く  
有し禁裏物質有し園東とて任せりとて

寛保三年十一月京都を新嘗會とて以觸

一 十月廿四日新嘗會とて四ツ時を以て日朝之時とて近江築地とて

僧尼法律とて事往來信とて事

一 火くえの儀は各地割裏店とて近う入急事

一 廿二日候七ツ時同共文日朔六ツ時迄洛中洛外寺院ハ勿論

町方ともし鐘証とて音を致振とて信を法信事執行也

秘便とて仕事

一 諸勸進とて信尼とて証打の儀致同の事

右通格中注外に註しよのこ

備前國鞆鶴石一車

- 一 備前國鞆山村金毘羅の社近所のみは寛保三亥年鞆鶴石出半遠近の人見物に集り見ゆる處より又も一人はそれと習は是れといは是れを言へ何程長きものとけつてと詳しき言ふ事あり集り所の跡をみる一備前城下にもその村の役人廟なるを毘羅の社といふの社亦古備前肥後方へか来り肥後方にも見ゆともいふは妙法の通り珍なり不思成の事といふ言ふ妙法なる一伊豫國の内にも近年鞆鶴石有りと一東経後妻にも見たり

仙臺草中一の説持る事一休の心も調ゆ事

- 一 延享二丑年一春の頃仙臺草中一枚新舊の事者説持る事古き書物にもありゆゑ直伝何程と聞て古説に拂りて名にゆゞり方と又いふ所にて右通格中にもこれらみ候し書上りして主人新舊の心を見ゆゆ一休和尚心ももろ有りし事ゆゞり仙臺の大字にも見ゆ如實に致しかり一京都紫野大徳寺にて一休の心一休と筆すは珍なり由代金九百文折紙深宵とてお極うゆ候し右新舊の大字の一聯馬を是時跋十重りりし説持る金百文見ゆは

右書物といふ